

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
<p style="text-align: center;">すごろくをしよう ～1～6までの数字・数唱・数量～</p>	中	<p style="text-align: center;">朝の取り組み 個別学習 (数学・自立活動)</p>	



<ねらい>

- ・ 1～6までの数字・数唱・数量を一致させることができる。
- ・ 簡単なゲームのルールを理解することができる。

<内容（使用方法）>

- ① 数字サイコロを振って出た目の数を声に出して言う。
- ② その数字の数量を「数量確認シート」の○を一対一対応するように指でおさえて確認させる。
- ③ 数唱しながらスタンプ（コマ）を押してマスを進める。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・ 生徒の好きなキャラクターのスタンプをいくつか用意して、使いたいコマを選ばせることでやる気につながった。
 - ・ 教師が先に、生徒が後にすることで、遊び方を例示することができた。
 - ・ 「サイコロを持っている人がする」という、『自分の番』が分かりやすかった。
 - ・ すごろく遊びをしているように楽しい雰囲気でも数の理解を深めることができた。
 - ・ 「数量確認シート」で指を使い一対一対応させることで、数量の理解を促すことができた。
 - ・ コマを動かして進めるのではなく、スタンプを押していくことで、マスを進めた形跡が残り視覚的に分かりやすかった。また2種類のスタンプを交互に使うことで、いくつマスを進めたかが視覚的に分かりやすかった。
 - ・ 数字と数量の一致ができるようになれば「数量確認シート」の手順を省いたり、友達と遊んだり、一人でスタンプを2つ使って遊んだりして、遊び方のアレンジが可能なのが良かった。
- ※数量を間違えて多く押ししてしまうことがあると思われるが、担当する児童生徒に合わせた方法で取り組めば良いと思う。残しておいて振り返ることも可能だが、今回は生徒の実態に合わせ、間違える前に声かけをしたり、間違えた部分を修正テープで白紙に戻したりして取り組んだ。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・ 数字サイコロ…手作り。
- ・ 数字サイコロの中の小さい鈴…100円均一ショップにて購入。
- ・ すごろくシート…パソコンで作成。
- ・ 数量確認シート…パソコンで作成。
- ・ コマ用のスタンプ…100円均一ショップにて購入。